

# 地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 23日

（報告先）  
横浜市長

住所 東京都港区芝5-33-1

氏名 森永製菓株式会社  
代表取締役社長 太田 栄二郎

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	森永製菓株式会社 代表取締役社長 太田 栄二郎				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都港区芝5-33-1				
主たる事業の業種	大分類	E 製造業			
	中分類	09 食料品製造業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	7,326	kl	自動車の台数	台

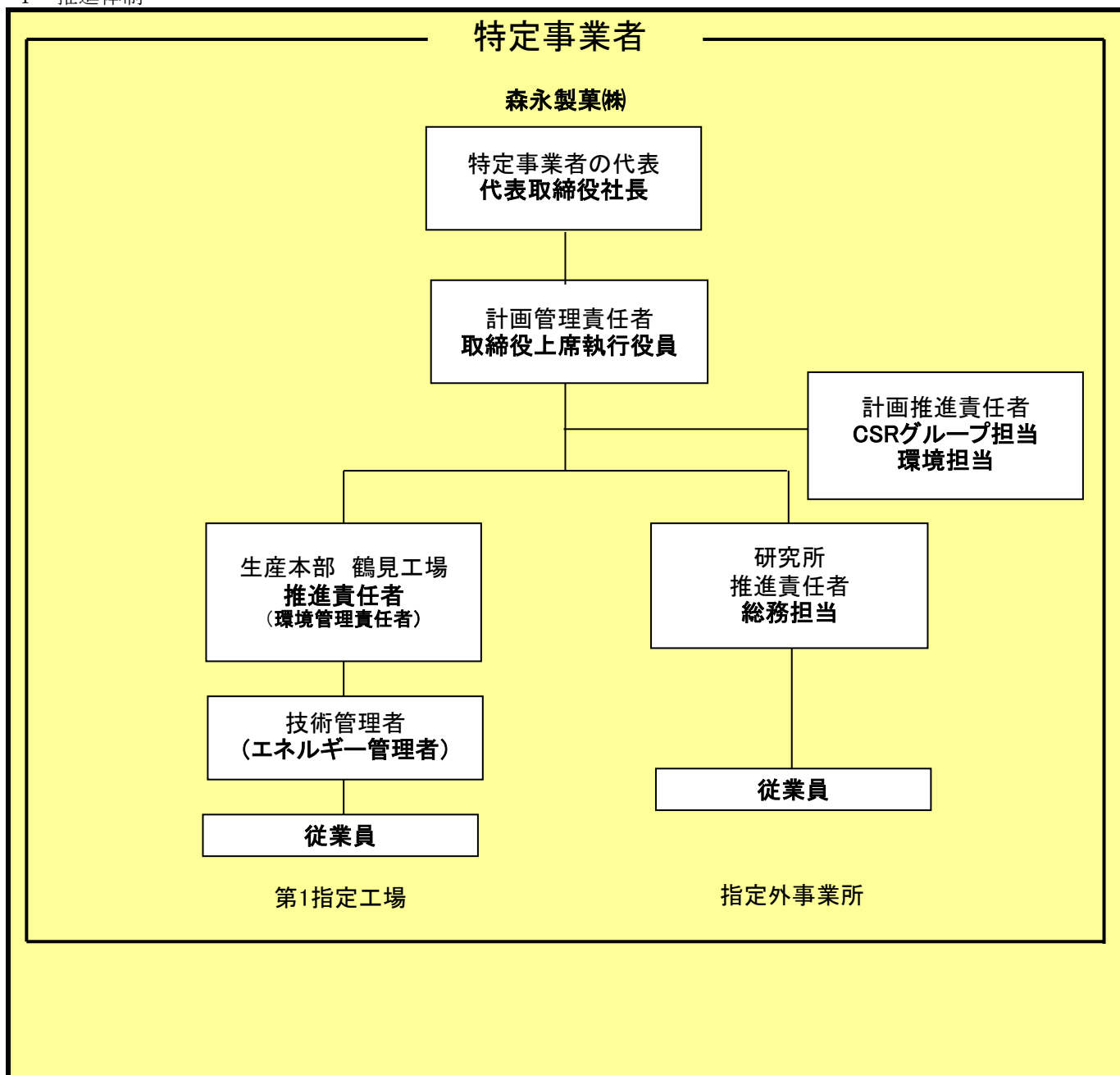
## 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016年度	～	2018年度	実施年度	2018年度
------	--------	---	--------	------	--------

## 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>【基本方針】 地球温暖化防止のため低炭素社会の実現と持続的成長が可能な循環型社会の形成を目指し、生物多様性の保全を通じた自然共生社会の構築に寄与すべく、企業活動のあらゆる面で環境に配慮した取り組みをおこないます。 1. 法令、条例等の順守 2. 製品に関わる工程での環境負荷の低減 3. CO<sub>2</sub>等の温室効果ガス排出量の削減</p> <p>【主要なエネルギー使用設備の更新等の検討】</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 空調機、照明器具をはじめ老朽化した設備と使用頻度・稼働時間により機器を選定し更新を進めます。 ・空調機等は機器の更新（計画・実行）と維持運用管理の見直し。 ・製造室等の不良照明器具を補修する際は省エネを意識し、LEDタイプ等に随時更新して行きます。 ・蒸気、エア、水等の洩れ箇所の発見と早期対応に取組みます。</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 ・照明器具等の老朽化設備を順次更新を進めて行く。</p> <p>③設備更新スケジュール ・照明器具更新については 補修にて更新する計画を進め、平成30年度迄に1,000台更新します。 ・空調機更新については 平成30年度迄に8台更新します。</p>
---

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	鶴見工場 設備グループ
	所在地	横浜市鶴見区下末吉2-1-1
	閲覧可能時間	8:00~16:30 (土・日・祝日は除く)
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	15,646	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	15,440	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	15,170	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.0 %		削減率	%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>生産・研究部門において技術的、経済的に可能な範囲で環境負荷を考慮し低減に努める。エネルギーの効率的な利用を促進し、省エネを図ると共にCO<sub>2</sub>等の温室効果ガス排出量を削減する</p> <p>①日常点検、業務を通しエネルギーのムダを削減する（洩れ箇所の把握と補修実施） ②照明設備のLED化推進と運用方法の見直し ③設備更新計画の中で仕様変更を検討し改善に繋げエネルギーの削減に努める</p>								
事業者全体としての目標等	<p>生産・研究部門において技術的、経済的に可能な範囲で環境負荷を考慮し低減に努める。エネルギーの効率的な利用を促進し、省エネを図ると共にCO<sub>2</sub>等の温室効果ガス排出量を削減する</p>								
第一年度 (2016年度)	排出量	15,656	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 0.1 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	15,330	t-CO <sub>2</sub>	削減率	0.7 %		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明	<p>・設備工事や修繕実行時に省エネ機器を導入し取組みました。①空調機の更新(資産活用含む)、②LED照明器具への更新、③蒸気・エア-洩れ箇所の早期発見と対応、を实施了しました。</p>								
第二年度 (2017年度)	排出量	14,729	t-CO <sub>2</sub>	削減率	5.9 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	14,063	t-CO <sub>2</sub>	削減率	8.9 %		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明	<p>・設備工事や修繕実行時に省エネ機器を導入し取組みました。①空調機の更新(資産活用含む)、②LED照明器具への更新、③蒸気・エア-洩れ箇所の早期発見と対応、④チラー設備の更新を实施了しました。基準年に比べて5.9%削減していますが、これは主に工場起因で製造ライン再構築の工事の為、ライン稼働率が昨年より減少した事が大きく寄与しています。</p>								
第三年度 (2018年度)	排出量	14,745	t-CO <sub>2</sub>	削減率	5.8 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	13,818	t-CO <sub>2</sub>	削減率	10.5 %		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明	<p>・設備工事や修繕実行時に省エネ機器を導入し取組みました。①空調機の更新(資産活用含む)、②LED照明器具への更新、③蒸気・エア-洩れ箇所の早期発見と対応を实施了しました。基準年に比べて5.8%削減していますが、削減要因には製造ライン再構築の工事の為、ライン稼働率が基準年度より減少した事も影響しています。</p>								
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>事業所では省エネ機器の導入やエネルギーの有効活用に力を入れて省エネ活動に取り組んできました。製造ライン再構築でライン稼働率が削減したことも削減の要因に含まれていると考えています。そのため、今後もこれまで以上にエネルギー削減に取り組んでいきます。</p>								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k l 以上	1	13,948	1	13,971	1	13,160	1	13,137
1,500k l 以上 3,000k l 未満	0	0	0	0	0	0	0	0
500k l 以上 1,500k l 未満	1	1,698	1	1,685	1	1,569	1	1,597
500k l 未満	0	0	0	0	0	0	1	11
合計	2	15,646	2	15,656	2	14,729	3	14,745

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度						
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	3/3	—	年度	
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	3/3	—	年度	
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	3/3	—	年度	
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	3/3	—	年度	
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	空気環境測定対象外	非該当	/	—	年度	空気環境測定対象外	非該当	/	—	年度	空気環境測定対象外
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	冷水ポンプなし	非該当	/	—	年度	冷水ポンプなし	非該当	/	—	年度	冷水ポンプなし
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	3/3	—	年度	
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	地下駐車なし	非該当	/	—	年度	地下駐車なし	非該当	/	—	年度	地下駐車なし
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	1/2	—	年度	照明設備多数の為継続実施	実施中	1/2	—	年度	照明設備多数の為継続実施	実施中	2/3	—	年度	照明設備多数の為継続実施
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	3/3	—	年度	
	15	機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)ボイラー 13/13	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー 13/13	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー 13/13	—	年度	
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	空調用冷凍機なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	空調用冷凍機なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	空調用冷凍機なし
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)ボイラー 13/13	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー 13/13	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー 13/13	—	年度	
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)ボイラー 13/13	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー 13/13	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー 13/13	—	年度	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施済	実施済	(設備の種類)バルブ 13/13	—	年度		実施済	(設備の種類)バルブ 13/13	—	年度		実施済	(設備の種類)バルブ 13/13	—	年度	
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	工業炉設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	工業炉設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	工業炉設備なし
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施済	実施済	(設備の種類)コンプレッサ 25/25	—	年度		実施済	(設備の種類)コンプレッサ 25/25	—	年度		実施済	(設備の種類)コンプレッサ 25/25	—	年度	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)コンプレッサ 25/25	—	年度		実施済	(設備の種類)コンプレッサ 25/25	—	年度		実施済	(設備の種類)コンプレッサ 25/25	—	年度	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度				
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度			
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度			
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。  
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。  
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		2.56 %		14,745		825.5		448.3		377					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	蛍光灯器具更新①	鶴見工場	2016	・点灯時間は 243日×14h=3402h/年 ・40W×2灯用(80W/台) 450台 80W×450台÷1000=36.0kW ・40W×1灯用(40W/台) 133台 40W×133台÷1000=5.3kW 41.3kW×3402h=140,502.6 kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	140,503	kWh	71.9	・583台の照明器具を更新 ①LEDﾊﾞｰﾀｲﾌﾟ(29W/台) 450台交換 13,050W ②LEDﾊﾞｰﾀｲﾌﾟ(15W/台) 133台交換 1,995W (13,050+1,995)÷1000=15.045kW 15.045kW×3402h=51,183.1 kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	51,183	kWh	26.2	45.7	千円
2	製造室①ﾊﾞｯｸﾞｼﾞｸﾞｰｰ更新	鶴見工場	2016	空調機(水冷式 冷媒 R-22) 1981年製の更新 圧縮機 10.8kW 送風機 3.7kW  (10.8+3.7)kW×24h×250日= 87,000kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	87,000	kWh	44.5	空調機 圧縮機 10.8kW 送風機 3.7kW 同能力の空調機に更新 (効率向上 0.18) (10.8+3.7)kW×24h×250日× 0.82= 71,340kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	71,340	kWh	36.5	8.0	千円
3	製造室②ﾊﾞｯｸﾞｼﾞｸﾞｰｰ更新	鶴見工場	2016	空調機(水冷式 冷媒 R-22) 1982年製の更新 圧縮機 10.8kW 送風機 3.7kW  (10.8+3.7)kW×24h×250日= 87,000kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	87,000	kWh	44.5	空調機 圧縮機 10.8kW 送風機 3.7kW 同能力の空調機に更新 (効率向上 0.18) (10.8+3.7)kW×24h×250日× 0.82= 71,340kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	71,340	kWh	36.5	8.0	千円
4	製造室③ﾊﾞｯｸﾞｼﾞｸﾞｰｰ更新	鶴見工場	2016	空調機(水冷式 冷媒 R-22) 1987年製の更新 圧縮機 7.5kW×2 送風機 2.2kW  (15+2.2)kW×10h×150日= 25,800kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	25,800	kWh	13.2	空調機 圧縮機 7.5kW×2 送風機 2.2kW 同能力の空調機に更新 (効率向上 0.18) (15+2.2)kW×10h×150日×0.82 = 21,156kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	21,156	kWh	10.8	2.4	千円
5	蛍光灯器具更新②	鶴見工場	2017	・点灯時間は 243日×14h= 3402h/年 ・40W×2灯用(80W/台) 318台 80W×318台÷1000=25.4kW ・40W×1灯用(40W/台) 60台 40W×60台÷1000=2.4kW (25.4kW+2.4kW)×3402h= 94,575.6 kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	94,576	kWh	48.4	・378台の照明器具を更新 ①LEDﾊﾞｰﾀｲﾌﾟ(29W/台) 318台交換 9,222W ②LEDﾊﾞｰﾀｲﾌﾟ(15W/台) 60台交換 900W (9,222+900)÷1000=10.122kW 10.122kW×3402h=34,435.0 kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	34,435	kWh	17.6	30.8	千円

連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量		CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量		CO2排出量 (t-CO2)				
					種別	使用量			単位	種別				使用量	単位
6	水銀灯器具更新①	鶴見工場	2017	・外灯更新 点灯時間は 365日×12h=4380h/年 300W×51台×4380h/年÷1000=67,014.0kW/年 ・水銀灯(製造室)更新 点灯時間243日×14h=3402h/年 360kW×8台×3402h/年÷1000=9,797.8kWh/年 67,014kW/年+9,797.4kW/年=76,811.8kW/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	76,812	kWh	39.3	・59台の照明器具を更新 ①LED垂直点灯タイプ(120W/台)(外灯更新タイプ) ・外灯更新 点灯時間は 365日×12h=4380h/年 120W×51台×4380h/年÷1000=26,805.6kW/年 ②LED吊下げタイプ(150W/台)(製造室水銀灯更新タイプ) ・水銀灯(製造室)更新 点灯時間243日×14h=3402h/年 150kW×8台×3402h/年÷1000=4,082.4kWh/年 26,805.6kW/年+4,082.4kW/年=30,888.0kW/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	30,888	kWh	15.8	23.5	千円
7	製造室④ パッケージクーラー更新	鶴見工場	2017	空調機(水冷式 冷媒 R-22) 1996年製の更新 圧縮機 15kW 送風機 3.7kW  (15+3.7)kW×24h×365日=163,812kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	163,812	kWh	83.9	空調機 圧縮機 15kW 送風機 3.7kW 同能力の空調機に更新 (効率向上 0.18) (15+3.7)kW×24h×365日×0.82=134,326kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	134,326	kWh	68.8	15.1	千円
8	第1工場 チラー設備更新	鶴見工場	2017	No.1チラー 消費電力128kW No.2チラー 消費電力58.6kW No.3チラー 消費電力71.8kW が交互運転で1台稼働している。 1日に発停を繰り返している為、 延べ稼働時間4h(平均)。 (128kW+58.6kW+71.8kW)÷3×4h×250日=258,400kWh/年	昼間買電	258,400	kWh	132.3	チラー更新に伴い、2階・3階でチラー設備を設置する。これにより、ライン稼働に合わせて各階で個別で設備を稼働できる。 ・2階設備 7.5kW×2台×250日×14h=52,500kW/年 ・3階設備 7.5kW×1台×250日×14h=26,250kW/年 52,500kW/年+26,250kW/年=78,750kW/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	77,750	kWh	39.8	92.5	千円
9	第2工場 チラー設備更新	鶴見工場	2017	チラー設備 1987年製の更新 圧縮機 45kW ×8台 45kW×2台×12h×250日=270,000kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	270,000	kWh	138.2	チラー設備 圧縮機 45kW ×4台 同能力の空調機に更新 (効率向上 0.20) 45kW×2台×12h×250日×0.80=216,000kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	216,000	kWh	110.6	27.6	千円
10	水銀灯器具更新②	鶴見工場	2018	・水銀灯(製造室)更新 点灯時間は 246日×14h=3402h/年 190W×18台×3402h/年÷1000=11,634.8kW/年 360kW×9台×3402h/年÷1000=11,022.5kWh/年 11,634.8kW/年+11,022.5kW/年=22,657.3kW/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	22,657	kWh	11.6	・27台の照明器具を更新 LED吊下げタイプ(150W/台)(製造室水銀灯更新タイプ) 点灯時間243日×14h=3402h/年 150W×27台×3402h/年÷1000=13,778.1kW/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	13,778	kWh	7.1	4.5	千円
11	蛍光灯器具更新③	鶴見工場	2018	・点灯時間は 243日×14h=3402h/年 ・40W×2灯用(80W/台) 1317台 80W×1317台÷1000=105.4kW ・20W×2灯用(40W/台) 10台 40W×10台÷1000=0.4kW (105.4kW+0.4kW)×3402h=359,931.6kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	359,932	kWh	184.3	・1327台の照明器具を更新 ①LEDタイプ(29W/台) 1317台交換 38,193W ②LEDタイプ(12.1W/台) 10台交換 121W (38,193+121)÷1000=38.3kW 38.3kW×3402h=130,296.6kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	130,297	kWh	66.7	117.6	千円



連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
12	製造室④ パッケージクーラー更新	鶴見工場	2018	空調機(水冷式 冷媒 R-22) 1987年製の更新 圧縮機 7.5kW×2 送風機 2.2kW  (15+2.2) kW×10h×150日 = 25,800kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	25,800	kWh	13.2	空調機 圧縮機 15kW 送風機 3.7kW 同能力の空調機に更新 (効率向上 0.18) (15+3.7) kW×10h×150日×0.82 = 23,001kWh/年 ※使用量は計算値のため昼間買電を適用した。	昼間買電	23,001	kWh	11.8	1.4	千円
															千円
															千円
															千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	LED器具	2016年度	照明器具①LED29w（ハーフタイプ）450台 ②LED15w（ハーフタイプ）133台	89,320kwh削減
2	LED器具	2017年度	照明器具①LED29w（ハーフタイプ）318台 ②LED15w（ハーフタイプ）60台	60,141kwh削減
3	LED器具	2017年度	照明器具③LED120w（垂直点灯タイプ）51台 ④LED150w（吊下げタイプ）8台	45,924kwh削減
4	LED器具	2018年度	照明器具①LED150w（吊下げタイプ）27台	8,879kwh削減
5	LED器具	2018年度	照明器具①LED29w（ハーフタイプ）1317台 ②LED12.1w（ハーフタイプ）10台	229,635kwh削減

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事務所	927（t-CO2）	東京電力エナジーパートナー(株)
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	平成27年度（平成26年度対比） ・飲料水使用量：89.4%（製造金額原単位比） ・工業用水使用量：82.1%（製造金額原単位比） ・廃棄物発生量：73.5%（製造金額原単位比）
計画期間内に実施する対策	・水使用量の削減：運用改善や節水意識向上により抑制する。 ・廃棄物発生量の削減：発生量の削減取組とリサイクルの推進
第一年度実績	平成28年度（平成27年度対比） ・飲料水使用量：114.4%（製造金額原単位比） ・工業用水使用量：94.4%（製造金額原単位比） ・廃棄物発生量：106.2%（製造金額原単位比）
第二年度実績	平成29年度（平成28年度対比） ・飲料水使用量：99.7%（製造金額原単位比） ・工業用水使用量：97.5%（製造金額原単位比） ・廃棄物発生量：97.3%（製造金額原単位比）
第三年度実績	2018年度（2017年度対比） ・飲料水使用量：109.7%（製造金額原単位比） ・工業用水使用量：95.6%（製造金額原単位比） ・廃棄物発生量：98.3%（製造金額原単位比）

14 実施状況等に対する自己評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場・研究所共に、省エネ活動を日々取組み、こまめな消灯・エアリー漏れの早期対策等、エネルギーの削減に努めています。</li> <li>・エネルギーの削減には使用状況から分析し、省エネルギーの重点対策を決め、取組みを実施しました。</li> <li>・新規設備は、環境に及ぼす影響を評価し、検証を行なった上で導入を行なっています。</li> </ul>
---